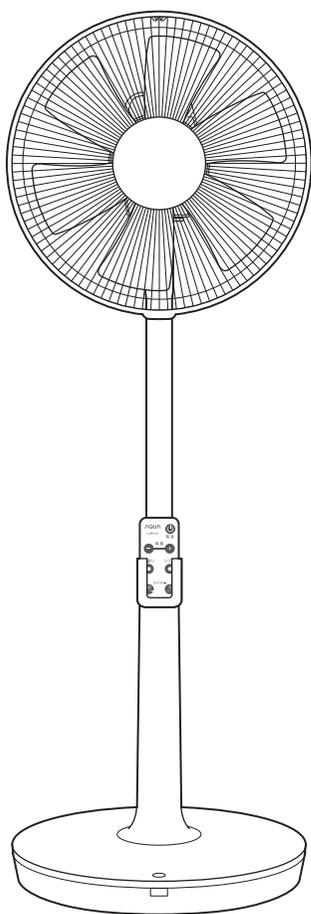


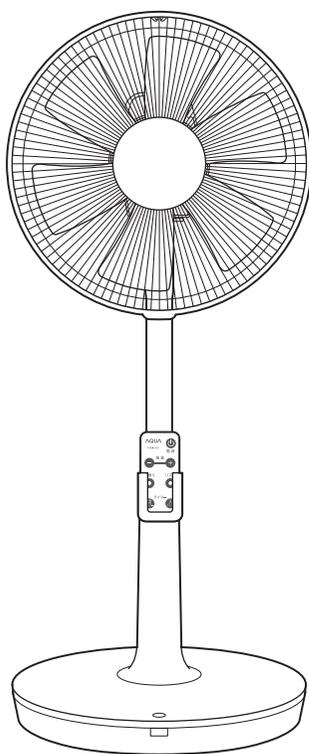
## 扇風機

品番 **AQS-H30C** ハイポジションタイプ  
高さ 905mm~1130mm

**AQS-L30C** リビングタイプ  
高さ 675mm~840mm



AQS-H30C



AQS-L30C

### もくじ

安全上のご注意	2~4
使用上のお願い	4
各部のなまえ	5
組み立てかた	6~7
使いかた	8~10
運転を開始/停止する	8
風量を調節する	8
リズム風にする	8
首振り運転を切り替える	8
タイマーの設定をする	9
風向き・高さを調節する	10
リモコンの使いかた	10
お手入れと収納のしかた	11~12
故障かな?と思ったとき	13
仕様	14
サービスパーツ	14
保証とアフターサービス	14
お客さまご相談窓口	15
保証書	裏表紙

このたびはお買い上げいただき、ありがとうございました。ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。また本書は保証書も兼ねています。必ず、お買い上げ日・お客様名・販売店名などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

保証書付  
(裏表紙)

日本国内専用  
Use only in Japan

### ご愛用者登録のお願い

下記のURLより愛用者登録とアンケートのご記入をお願い致します。

<http://aqua-has.com/support/reg/>



# 安全上のご注意 **必ずお守りください**

お使いになる人や他の人への危害・財産の損害を防ぐために、お守りいただくことを説明しています。

■表示の説明（取り扱いを誤った場合に生じる危害・損害の程度を示します）

	<b>警告</b>	「死亡、または重傷を負う可能性がある内容」を示します。
	<b>注意</b>	「軽傷や物的損害が発生する可能性がある内容」を示します。

■図記号の説明

	図記号の中の絵や近くの方で、してはいけないこと（禁止）を示します。
	図記号の中の絵や近くの方で、しなければならないこと（指示）を示します。

## **警告**

### 運転・取り扱いは



禁止

- ベースを付けずに運転しない  
(転倒して、けがの原因)
- 羽根・ガードを付けずに運転したり、高さ調節ボタンを押さない  
(けがの原因)
- スライドパイプを縮めたままお手入れをしない  
(誤って高さ調節ボタンを押すと、モーター部が飛び出してけがの原因)



- スプレーなど（可燃性）を吹きつけたり、スプレー缶を近くに置かない  
(可燃性スプレーや化学薬品を近くで使うと火災・爆発の原因)



水ぬれ禁止

- 水につけたり、水をかけたりしない  
(ショート・感電の原因)



分解禁止

- 分解・修理・改造をしない  
(火災・感電・けがの原因)  
内部に電圧の高い部分があります。修理はお買い上げの販売店、またはお客さまご相談窓口にご相談ください。



指示

- 包装用ポリ袋は、幼児の手の届かないところに保管する  
(誤ってかぶると、窒息する原因)



指示

- 異常・故障時にはすぐに使用を中止する  
(火災・感電・けがの原因)  
すぐに電源プラグを抜き、お買い上げの販売店、またはお客さまご相談窓口にて点検・修理をご依頼ください。

#### 【異常・故障例】

- ・モーター部が異常に熱かったり、こげくさかったりする。
- ・羽根が回っても異常に回転が遅かったり、不規則になったりする。
- ・スイッチを入れても羽根が回らない。
- ・回転するとき異常な音がする。



指示

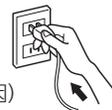
- 製品の組み立ておよびお手入れは取扱説明書通りに行う  
(部品がはずれ、けがの原因)
- 組み立てるときは、締め付けリング・スピナーをしっかりと締める  
(部品がはずれ、けがの原因)

### 電源プラグ・コードは



指示

- 電源は交流100Vのコンセントを使う  
(火災・感電の原因)
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む  
(感電や発熱による火災の原因)
- 電源プラグの刃や刃の取り付け面にホコリが付いた場合は、乾いた布で拭き取る  
(プラグにほこりがたまり、湿気などで、絶縁不良による火災の原因になります)



## 警告

### 電源プラグ・コードは



プラグを抜く

- 組み立てるとき・お手入れをするとき・持ち運ぶときは、電源プラグをコンセントから抜く  
(感電・けがの原因)



禁止

- 電源プラグ・コードが傷んだり、熱くなったときや、コンセントの差し込みがゆるい場合は使わない  
(火災・感電・けが・ショートの原因)  
電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。

- 電源プラグ・コードを傷付けない  
(火災・感電・ショートの原因)
  - ・加工しない
  - ・熱器具に近づけない
  - ・引っ張ったり、重いものをのせたり、はさんだりしない
  - ・無理に曲げたり、ねじったり、束ねて通電したりしない

- コードをベースで踏みつけない  
(火災・感電の原因)

- コードをステップルや釘などで固定しない

- 持ち運び時や収納時には電源コードを引っ張らない  
(コードがショートや断線して火災・感電の原因)



- コードを突っ張った状態で使用しない  
(コードがショートや断線して火災・感電の原因)



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない  
(感電・けがの原因)



指示

- リモコン用のリチウム電池は幼児の手の届かないところに置く  
(誤って飲み込むと、窒息・体調不調の原因)  
万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。

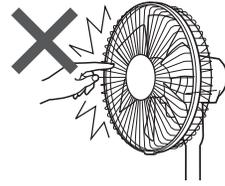


禁止

- 幼児の手の届くところでは使用しない  
(感電・けがの原因)

## 注意

### 運転・取り扱い



接触禁止

- ガードの中や可動部へ指や異物を入れない  
(けが・故障の原因)  
羽根ラベルは、はがさないでください。(注意喚起のため法律で定められた表示です)

- 入タイマー設定中は、羽根・ガードにさわらない  
(羽根が回り始め、けがの原因)



指示

- 本体に異常な振動が発生した場合は、使用を中止する  
(羽根やガードがはずれて落下し、けがの原因)



禁止

- スライドパイプに油などを付けない  
(パイプが急に下降して、けがの原因)

- 製品を引きずらない  
(床に傷が付く原因)

### 電源プラグ・コードは



プラグを抜く

- 使わないときは、電源プラグをコンセントから抜く  
(絶縁劣化による火災・感電の原因)



指示

- 電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って引き抜く  
(コードを引っ張ると破損し、火災・感電の原因)



(次ページへつづく)

## 安全上のご注意 (つづき)

### 注意



禁止

- 組み立てた状態では輸送しない  
輸送するときは、箱に必ず収納してください。破損の原因になります。
- 組み立てるとき・お手入れするときは、**モーター軸を目や顔に近づけない**  
(先端に接触してけがの原因)

### 使用場所について



禁止

- 次のようなところでは使わない  
(感電や火災の原因)
  - ・ガスレンジなどの炎の近く
  - ・引火性ガスのあるところ
  - ・直射日光、雨風のアたる場所
  - ・高温 (40℃以上)、多湿 (浴室など) のところ
  - ・油、ホコリ、金属粉の多いところ
- 障害物の近くや不安定な場所では使わない  
(転倒し、羽根の損傷・けがの原因)



禁止

- 風を長時間、からだに当てない  
(健康を害する原因)  
特にお休み中の乳幼児・お年寄り・ご病気がかたが使用するときは、周囲のかたが十分気をつけてください。

### リモコン用のリチウム電池は



禁止

- 指定以外の電池は使わない
- 電池の⊕と⊖を間違えて入れない
- 充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れない
- 「使用推奨期限」を過ぎたり使い切ったリチウム電池は、リモコンに入れておかない  
(液もれ・破裂などで、やけど・けがの原因)  
もし液に触れたときは、水でよく洗い流し、医師に相談してください。  
器具に付着したときは、液に直接触れないように拭き取ってください。

## 使用上のお願い

### 運転・取り扱いについて

- 室内の壁コンセント\*からの電源以外は使用しないでください。  
直流電力を交流電力に変換する装置に接続して使用しないでください。発煙・発火の原因になります。  
\*家庭用電源の代表例であり、壁・床・天井などのコンセントの位置による区別ではありません。
- リモコンに液状のものをかけたり、落としたり、踏まないでください。  
故障の原因になります。
- ガードは無理に正面へ戻さないでください。  
破損の原因になります。風向調節 (▶ 10 ページ) の範囲で正面に戻らないときは、首振り運転させて戻してください。
- 保護ネットをガードに取り付けしないでください。  
ガードの中に吸い込まれることがあり、羽根の損傷やけがの原因になります。
- 長時間直射日光に当てないでください。  
変色などの原因になります。
- フローリング床をワックスがけした後は、ワックスが十分乾いてから製品を置いてください。  
あとが付いたり、ワックスがはがれることがあります。

### お手入れをするときは

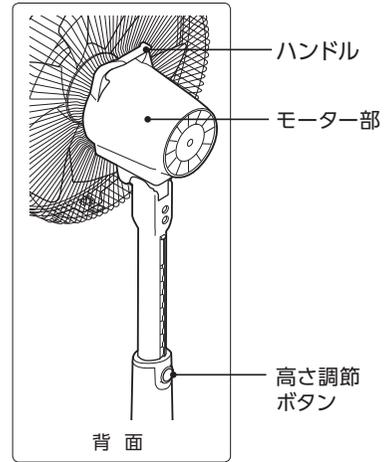
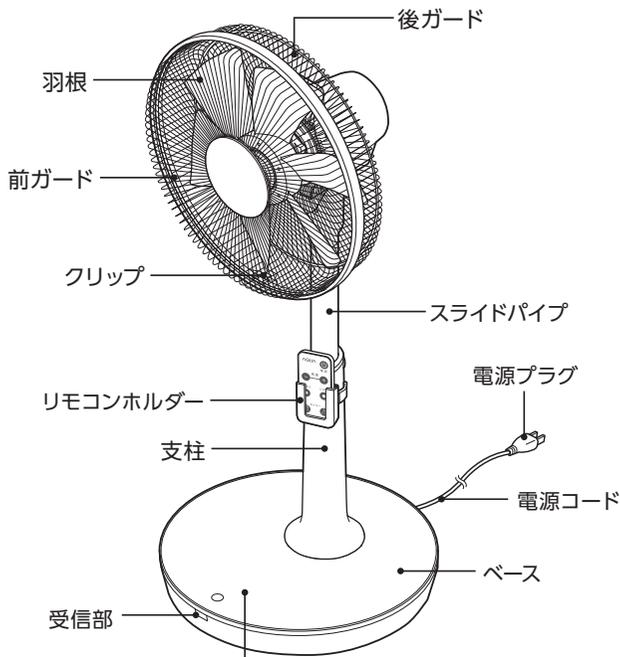
- 中性洗剤溶液は、洗剤容器の表示に従って水で薄めて使用してください。
- 乾いた布で強くこすったり、ベンジン・シンナー・アルコール・漂白剤・みがき粉・アルカリ性洗剤を使わないでください。  
表面の傷付きや、変質・変色・塗装はがれの原因になります。化学ぞうきんを使うときは、注意書に従ってください。
- 運転停止後は、モーター軸が熱くなっていますので、お手入れは 30分程度待ってから行ってください。  

- 羽根・ガードなどに強い衝撃を与えないでください。  
破損の原因になります。

### 使用場所について

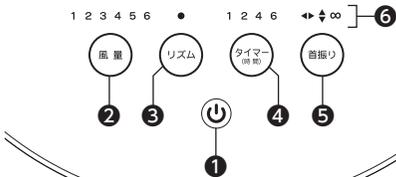
- カーテンの近くや洗濯物の下で使わないでください。  
ガードの中に吸い込まれることがあり、羽根の損傷やけがの原因になります。運転中に羽根の回転が止まると、エラー検知し運転を停止します。
- テレビ・ラジオ・補聴器などの近くで使わないでください。  
電波が弱いときや室内アンテナを使っているときに、雑音が入ることがあります。影響のないところまで離してください。

# 各部のなまえ

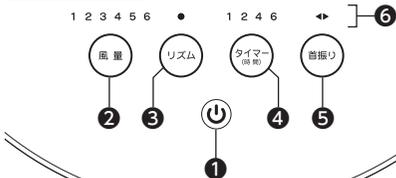


## 操作部

### AQS-H30C



### AQS-L30C



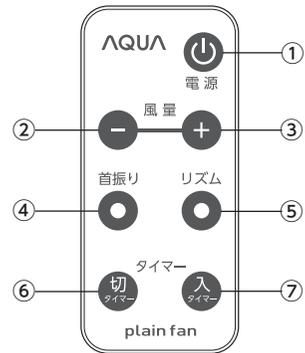
- ① 運転入／切ボタン
- ② 風量キー
- ③ リズムキー
- ④ タイマーキー
- ⑤ 首振りキー
- ⑥ 表示部

※②～⑤はタッチパネルキーです。

※イラストは、キーや表示部がすべて表示された状態です。

※AQS-H30Cには上下／立体の首振り機能があります。

## リモコン



- ① 運転入／切ボタン
- ② 風量 (-) ボタン
- ③ 風量 (+) ボタン
- ④ 首振りボタン
- ⑤ リズムボタン
- ⑥ 切タイマーボタン
- ⑦ 入タイマーボタン

### ■タッチパネルキーの操作について

- キーは、強く押しすぎず、指の腹で軽くタッチしてください。
- 表示部などのタッチパネルキー操作部以外をタッチしても、操作はできません。
- タッチパネル（操作部）にシールを貼ったり、ペン等で書き込まないようにしてください。

- 次の場合は、キーが反応しないことがあります。
  - ・ タッチする間隔が短い。
  - ・ 指やキーがぬれている、汚れている。
  - ・ 手袋をはめてタッチしている。
  - ・ 周囲の温度、湿度、お使いいただくかたの体調、近くの電気製品の動作状況により反応は変わる場合があります。

# 組み立てかた



## 警告



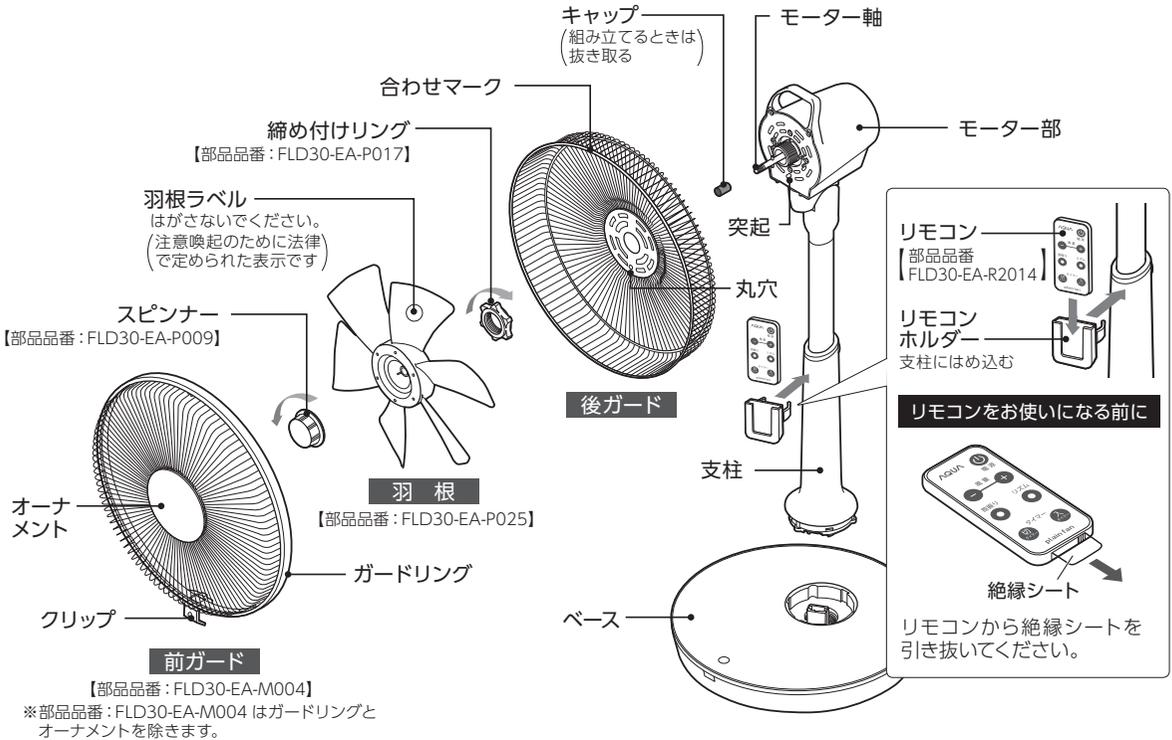
●羽根・ガードを付けずに運転したり、高さ調節ボタンを押さない  
(けがの原因)

●コードをベースで踏みつけない  
(火災・感電の原因)

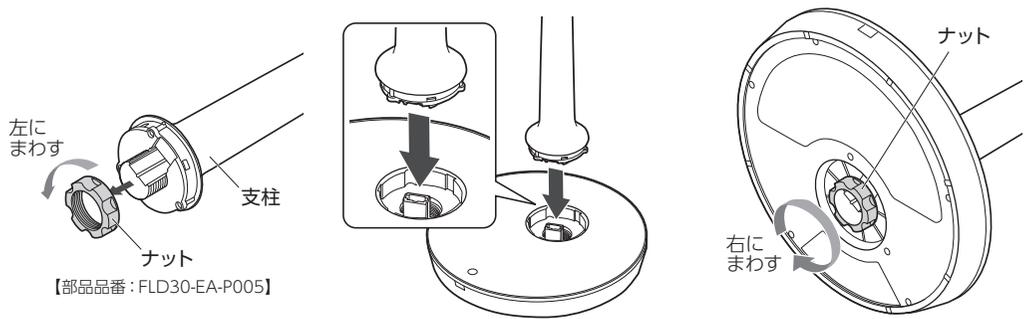


●組み立てるとき・お手入れをするとき・持ち運ぶときは、電源プラグをコンセントから抜く  
(感電・けがの原因)

製品が入っていた梱包箱・包装部品やモーター軸のキャップは、収納時に必要です。なくさないようご注意ください。



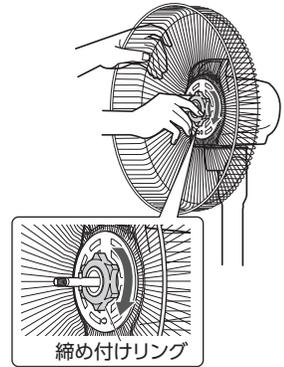
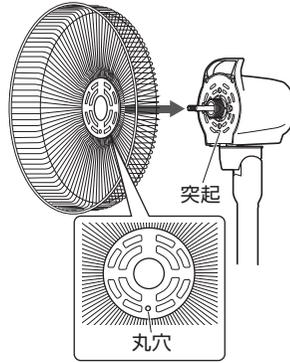
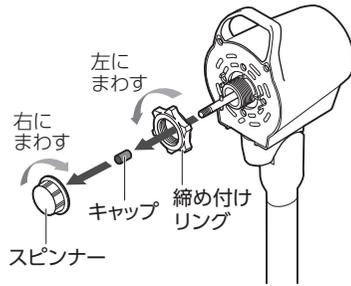
- ## 1
- ### 支柱をベースに取り付ける。
- ①支柱の底のナットをはずす。
  - ②ベースのくぼみのコネクター部の方向を合わせ、はめ込む。
  - ③本体を横向きにし、ナットを右に回して支柱とベースを固定する。  
ゆるまないように確実に締め付けてください。



## 2

### 後ガードをモーター部に取り付ける。

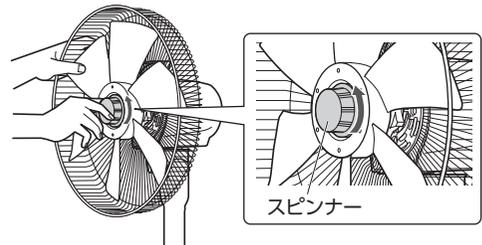
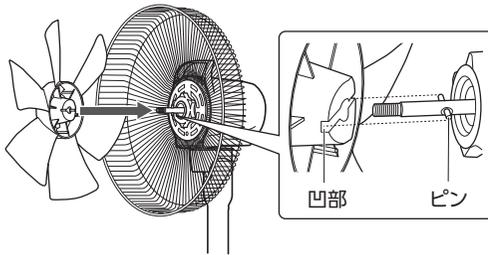
- ①スピナー・キャップ・締め付けリングをモーター部からはずす。  
キャップは収納時に必要です。なくさないようにご注意ください。
- ②後ガードの丸穴とモーター部の突起を合わせてはめ込む。
- ③締め付けリングを右方向に回し、しっかり締め付ける。



## 3

### 羽根を取り付ける。

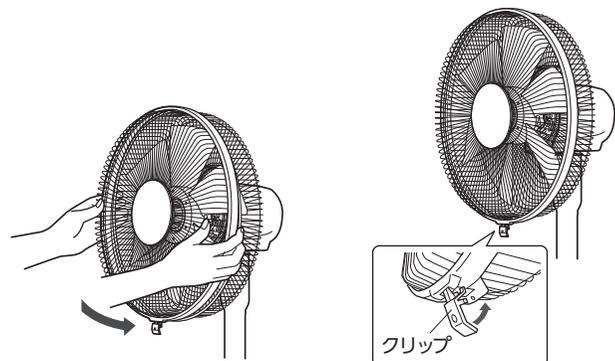
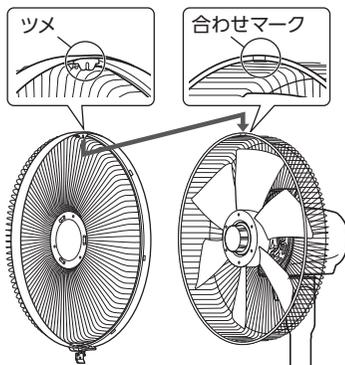
- ①モーター軸のピンに羽根の凹部を合わせて差し込む。
- ②スピナーを左方向に回し、締め付ける。  
手で羽根を回し、スピナーが落ちないことを確認してください。



## 4

### 前ガードを取り付ける。

- ①前ガードのツメを、後ガードの「合わせマーク」に合わせてはめ込む。
- ②前ガードを後ガードにかぶせるように、上から順にはめこむ。
- ③クリップを強く押し込んで固定する。  
前ガードがはずれないことを確認してください。



# 使いかた

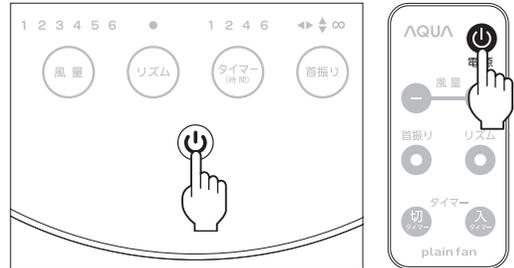
安定した場所に設置し、電源プラグをコンセントに差し込んでください。電源プラグを差し込むと、“ピーッ”音が鳴ります。本体の操作部とリモコンのどちらでも操作ができます。

## 運転を開始／停止する

- 運転停止中に運転入／切ボタンを押すと、風量 1 で運転を開始します。(メモリー機能時は前回停止時の風量で運転します)
- 運転中に押すと、運転を停止します。

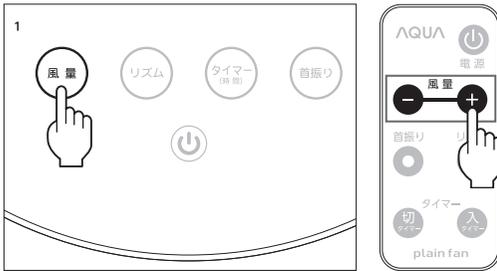
### ■メモリー機能

- 運転停止後に、運転入／切ボタンを押すと、停止する前の運転状態(風量・首振り・リズム)で運転します。タイマー時間はメモリーされません。
- 電源プラグを抜くと、メモリー機能は解除されます。



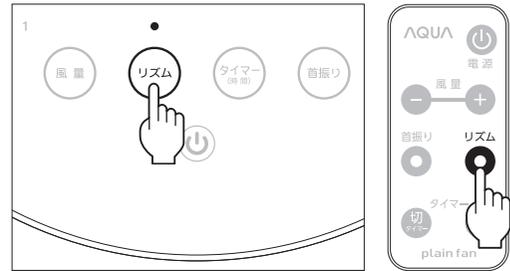
※上記は AQS-H30C の操作部で、首振りキーの表示部は AQS-L30C と異なります。

## 風量を調節する



- 風量キーを押すたびに、風量が 1 段階ずつ強くなります。風量 6 のときに押すと、風量 1 にもどります。
- リモコンは風量 (+) (-) ボタンで風量を調整します。

## リズム風にする

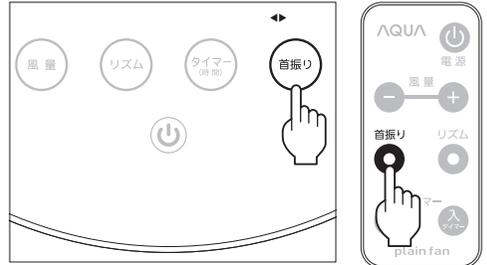
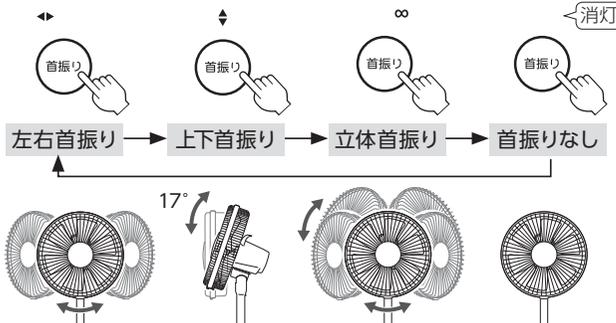


- リズムキー／ボタンを押すと、風量に変化をつけたリズムカルな風に変更できます。
- もう一度押すと、通常の風にもどります。

## 首振り運転を切り替える

### AQS-H30C

- 首振りキー／ボタンを押すたびに、次のように切り替わります。



※上記は AQS-H30C の操作部で、首振りキーの表示部は AQS-L30C と異なります。

### AQS-L30C

- 首振りキー／ボタンを押すたびに、左右首振り と 首振りなし が切り替わります。

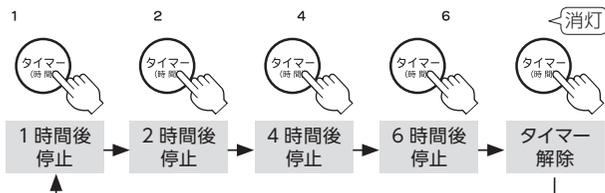
## タイマーの設定をする

### 切タイマー

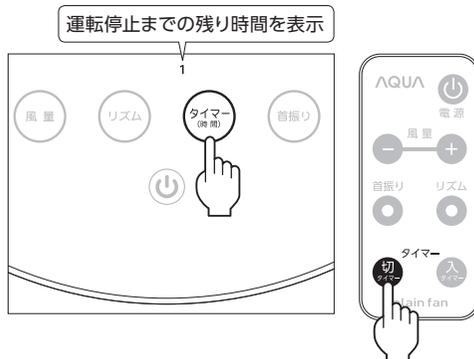
- 設定した時間後に**運転が停止**します。
- 運転中**に以下の操作で運転停止までの時間を設定します。キー/ボタンを押すごとに時間が切り替わります。

**操作部** タイマーキーを押す。

**リモコン** 切タイマーボタンを押す。



#### 運転中に操作



### 入タイマー

- 設定した時間後に**運転が開始**します。
- 運転停止中**に以下の操作で運転開始までの時間を設定します。キー/ボタンを押すごとに時間が切り替わります。

**操作部** ①運転入/切ボタンを3秒以上長押しする。

→タイマーキーが点灯します。

②そのまま運転入/切ボタンを押しながら、タイマーキーを押して時間を設定する。

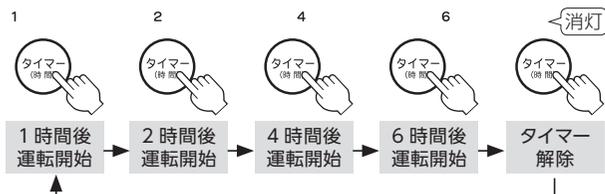
③時間の設定後、点灯している風量・リズム・首振りキーを押して各設定ができます。

(注) 運転入/切ボタンから指を離すと、入タイマーは設定できません。

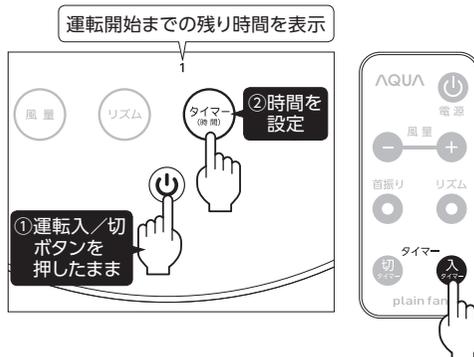
④運転入/切ボタンから指を離す。

→入タイマーが設定されます。タイマー時間のみ表示され、他の表示は消灯します。

**リモコン** 入タイマーボタンを押す。



#### 運転停止中に操作



■入タイマーは本体操作部でも設定できますが、リモコンでの設定をおすすめします。

■入タイマーが設定されている間に…

- 運転入/切ボタンを押すと、入タイマーが解除され風量1から運転を開始します。

### お願い

- 運転停止中であることを確認してください。入タイマーは運転停止中のみ設定できます。
- 入タイマーを設定する前に電源プラグをコンセントに差し込んでおいてください。
- 本製品には「入」「切」タイマー同時予約機能はありません。ご了承ください。

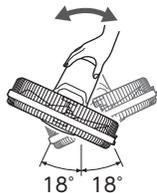
### ■ 10 時間オートパワーオフ機能

- 切り忘れ防止のため、運転開始から「10 時間後」に自動的に運転を停止します。
- 入タイマー設定時は、タイマー設定運転開始時間から 10 時間後に運転を停止します。

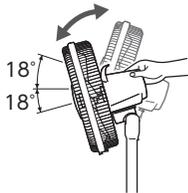
# 使いかた

## 風向きを調節する

左右に調節

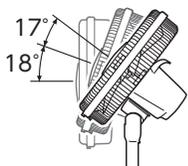


上下に調節

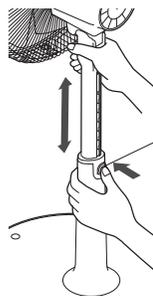


AQS-H30C

手動で18°上向きにして上下首振り運転すると、さらに17°上向きになります。



## 高さを調節する



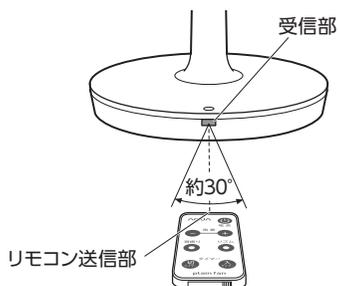
高さ調節ボタン  
(安全のため、操作力は若干強くなっています。)

高さ調節ボタンを押しながら、スライドパイプの上部を持って調節してください。(下げるときはロックはかかりません)

### お願い

- 調節時は可動部に指をはさまないように注意してください。
- 調節可動範囲(左右・上下調節範囲)を超えて無理に動かさないでください。首振り用モーターの故障の原因になります。

# リモコンの使いかた



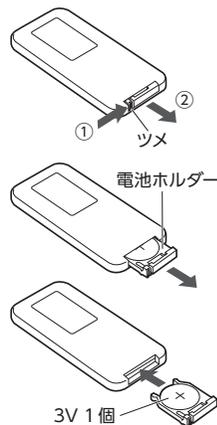
リモコン送信部を受信部に向けて操作します。  
操作可能距離は約4.0m、左右に約30°以内です。

### お願い

- 電池は工場出荷時にセットされているため、寿命が短い場合があります。操作しにくくなった場合は、電池を交換してください。
- 本体の受信部に直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにしてください。(リモコン操作がしにくい場合があります)
- リモコンを使用しないときは、リモコンホルダーに収納してください。

## リモコンの電池交換のしかた

- 1 リモコンを裏返し、電池ホルダーを取り出す。  
①ツメを内側に押しながら、  
②手前に引き出す。
- 2 使い終わった電池を取り出し、新しい電池を電池ホルダーに入れる。  
⊕を上側にする。
- 3 電池ホルダーを元に戻す。



### お願い

- リチウム電池は CR2025 をご使用ください。
- 電池の⊕⊖を間違えないように正しく入れてください。
- 電池ホルダーに無理な力を加えないでください。
- 長期間使わないときは、電池を取り出してください。
- 使用済みの電池はお住まいの地域の分別方法に従って捨ててください。(捨てる際にはセロハンテープなどを巻きつけて絶縁してください)



警告



指示

- リモコン用のリチウム電池は幼児の手の届かないところに置く  
(誤って飲み込むと、窒息・体調不調の原因)  
万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。

# お手入れと収納のしかた



## 警告



プラグを抜く

- 組み立てるとき・お手入れをするとき・持ち運ぶときは、電源プラグをコンセントから抜く  
(感電・けがの原因)

## 取りはずしかた

首振り運転(▶8ページ)をしてガードを正面に向けてから運転を停止し、電源プラグを抜きます。「組み立てかた」(▶6～7ページ)と逆の順序で分解してください。

### 1

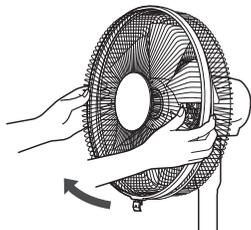
#### 前ガードをはずす。

- ①クリップをはずす。



クリップ

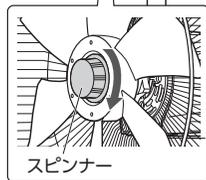
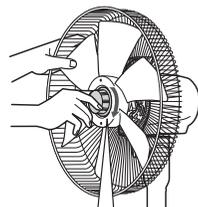
- ②ガードリングを両手で手前に引くようにして、前ガードをはずす。  
(クリップを引っ張ると破損の原因になります)



### 2

#### 羽根をはずす。

- ①スピナーを右方向に回してはずす。



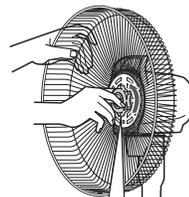
スピナー

- ②手前に引くようにして、羽根をはずす。

### 3

#### 後ガードをはずす。

- ①締め付けリングを左方向に回してはずす。



締め付けリング

- ②手前に引くようにして、後ガードをはずす。

### 4

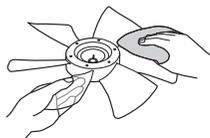
#### 支柱をはずす。

- ▶6ページ手順1の逆の手順で支柱をはずす。

## お手入れのしかた

### 羽根・本体

- ①水に浸してかたく絞ったやわらかい布で、よごれを拭き取る。
- ②乾いたやわらかい布で水分を拭き取る。

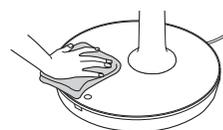


### ■よごれがひどいときは

- ①中性洗剤溶液に浸してかたく絞ったやわらかい布で、よごれを拭き取る。
- ②洗剤が残らないよう、水で絞った布で十分に拭き取る。
- ③乾いたやわらかい布で水分を拭き取る。

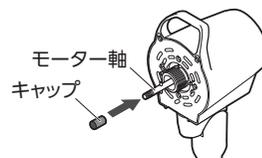
### 操作部

乾いたやわらかい布で拭きをする。



### モーター軸

よごれを拭き取り、ミシン油を塗ってキャップをかぶせる。



モーター軸

キャップ

### お願い

- 中性洗剤溶液は、洗剤容器の表示に従って水で薄めて使用してください。
- 乾いた布で強くこすったり、ベンジン・シンナー・アルコール・漂白剤・みがき粉・アルカリ性洗剤を使わないでください。表面の傷付きや、変質・変色・塗装はがれの原因になります。化学ぞうきんを使うときは、注意書に従ってください。
- 運転停止後は、モーター軸が熱くなっていますので、お手入れは30分程度待ってから行ってください。
- 羽根・ガードなどに強い衝撃を与えないでください。破損の原因になります。

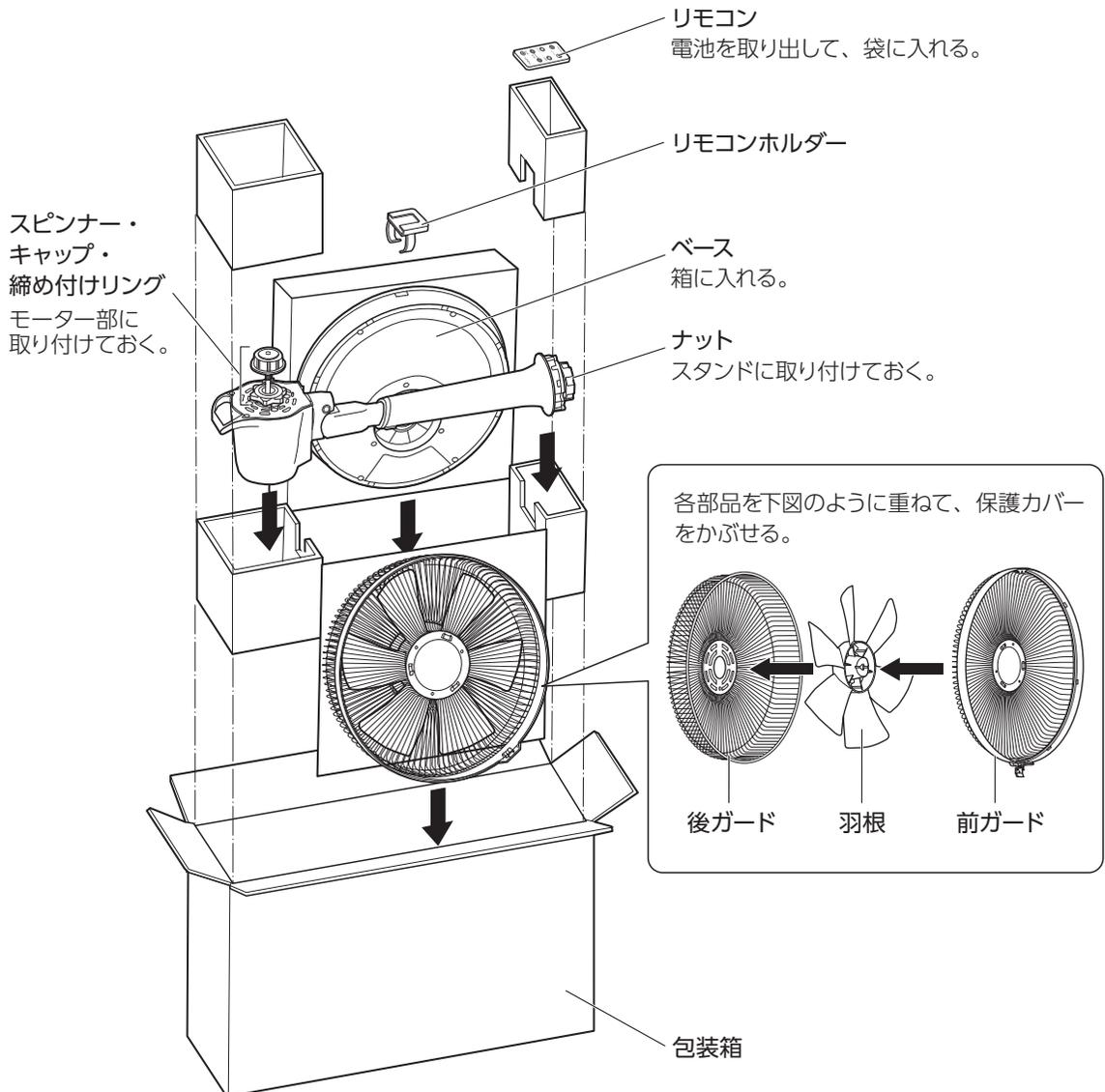
(次ページへつづく)

# お手入れと収納のしかた (つづき)

## 収納のしかた

以下の図のように収納して保管してください。

※下記は、AQS-L30C の収納のしかたです。包装箱のサイズは異なりますが、AQS-H30C も同様の収納になります。



# 故障かな？と思ったとき

ご使用中に異常が生じたときは、まず次の点をお調べください。

こんなとき	お調べいただくこと	参照ページ
羽根が回らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源プラグはコンセントにしっかり差し込まれていますか。</li> <li>ガードが変形等して、羽根に当たっていませんか。</li> </ul>	7
羽根は回るが異常な音がする	<ul style="list-style-type: none"> <li>羽根はスピナーでしっかりと取り付けられていますか。</li> <li>ガードはしっかりと取り付けられていますか。</li> <li>羽根とガードが当たっていませんか。</li> </ul>	7
	<ul style="list-style-type: none"> <li>運転を開始するときや停止するとき「チリチリ」と音がすることがありますが、異常ではありません。</li> </ul>	—
風量が増えるときの回転音が気になる	<ul style="list-style-type: none"> <li>風量が一時的に強まる時、モーターから「ウィーン」、「ウォーン」と音がすることがありますが、インバーターモーター特有の音で異常ではありません。</li> </ul>	—
首振りするときの動作音が気になる	<ul style="list-style-type: none"> <li>首振り運転時に「カタカタ」、「ジージー」と音が一時的に強まるありますが、首振りモーター特有の音で異常ではありません。</li> </ul>	—
タッチパネルキー操作を受け付けられない	<ul style="list-style-type: none"> <li>指やキーがぬれていたり、汚れていたりしませんか。</li> </ul>	5
リモコンで操作できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>受信部に向けて操作していますか。</li> <li>電池が消耗していませんか。</li> <li>電池の入れかた（⊕⊖の方向）が間違っていないですか。</li> </ul>	10
入タイマーが設定できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。</li> <li>入タイマーは運転停止中のみ設定できます。</li> </ul>	9
運転が自動的に止まる	<ul style="list-style-type: none"> <li>切タイマーを設定していませんか。</li> <li>運転開始から10時間経過していませんか。</li> </ul>	9
停電後、正常な運転ができない	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源プラグを抜いて差し直してください。</li> </ul>	—

## 長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示

### ■本体への表示内容

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で、義務付けられた以下の内容を本体に表示しています。

【製造年】本体に西暦4桁で表示してあります。

	<p>【設計上の標準使用期間】8年 設計上の標準使用期間を超えて使用されま すと、経年劣化による発火・けが等の事故 に至るおそれがあります。</p>
---	--

### ■設計上の標準使用期間

- 運転時間や湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
- 設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

### ■標準使用条件

日本工業規格 JIS C 9921-1 による

環境条件	電圧	100V
	周波数	50/60Hz
	温度	30℃
	湿度	65%
	設置条件	標準設置 * 1
負荷条件	定格負荷（風速） * 2	
想定時間等	1日あたりの使用時間	8（時間/日）
	1日使用回数	5（回/日）
	1年間の使用回数	110（日/年）
	スイッチ操作回数	550（回/年）
	首振り運転の割合	100%

\* 1：製品の取扱説明書による（水平で安定した場所）

\* 2：製品の取扱説明書による

- 環境条件の湿度 65% は、JIS Z 8703 の試験状態を参考としています。
- 設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、または、業務用など本来の使用目的以外でご使用された場合は、8年より短い期間で経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

# 仕様

品番	電源	消費電力 <sup>*1</sup>	風速 <sup>*2</sup>	風量 <sup>*2</sup>	質量	首振り角度	コードの長さ	付属品
AQS-H30C	交流 100V 50/60Hz	20W	170m/min	33m <sup>3</sup> /min	4.4kg	上下 17° (自動) 左右 90°	1.6m	リモコン リチウム電池 (CR2025)
AQS-L30C					3.2kg	左右 90°		

※1：風量「6」、AQS-H30Cは上下・左右首振り運転、AQS-L30Cは左右首振り運転の場合です。

※2：風量「6」の場合です。

●運転停止状態の本体の消費電力は約0.5Wです。

## サービスパーツ (希望小売価格は2014年4月現在)

部品品名	羽根	前ガード <sup>*1</sup>	スピナー	締め付けリング	ナット	リモコン
部品品番	FLD30-EA-P025	FLD30-EA-M004	FLD30-EA-P009	FLD30-EA-P017	FLD30-EA-P005	FLD30-EA-R2014
希望小売価格	2,000円(税抜)	2,500円(税抜)	400円(税抜)	400円(税抜)	400円(税抜)	1,900円(税抜)

※1：前ガード部品品番はガードリングとオーナメントを除きます。

## 保証とアフターサービス

### 保証書 (取扱説明書裏面)

この商品には保証書がついています。お買い上げの販売店で発行しますので、保証書の「販売店・お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

保証期間はお買い上げ日より1年間です。

### 修理サービス

使用中に具合が悪くなったときは、「故障かな?と思ったとき」(▶13ページ)に従って調べてください。直らないときは、内部機構をさわらずに電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。

- 保証期間中は、保証書の規定に従って販売店が修理いたします。
- 保証期間内であっても、お客さまの誤使用で故障した場合は、有料修理となります。
- 保証期間がすぎているときは、修理により機能が維持できる場合、お客さまのご要望により有料修理となります。

### 補修用性能部品の保有期間

扇風機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

・補修用性能部品…その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### 修理を依頼されるときは

保証期間をすぎてもご要望により有料で修理させていただきます。

修理料金は、以下の内容で構成されています。

技術料	診断、修理、調整、点検などの費用です。
部品代	修理により使用した部品および補助材料代です。
出張費	ご依頼により技術者を派遣する費用です。

まずはお買い上げの販売店へご相談ください。  
販売店にご相談できない場合は、15ページの相談窓口にお問い合わせください。

# お客さまご相談窓口

## お客さまご相談窓口

### ■まずはお買い上げの販売店へ…

家電商品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げの販売店へお申し出ください。  
転居や贈答品でお困りの場合は、下記の相談窓口にお問い合わせください。

#### 家電商品についての全般的なご相談

〈ハイアール アジア 株式会社〉

受付時間：(365日) 9:00~18:30

#### 総合相談窓口

固定電話からは  0120-880-292  
携帯電話・PHSからは  0570-040-292 (有料)

FAX でご相談される場合  0570-013-790 (有料)

#### 家電商品の修理サービスについてのご相談

〈ハイアール アジア 株式会社〉

受付時間：月曜日～金曜日 9:00～18:30

土曜・日曜・祝日 9:00～17:30

#### 修理相談窓口

固定電話からは  0120-778-292  
携帯電話・PHSからは  0570-030-292 (有料)

### お客さまご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。なお、お客さまが当社にお電話でご相談、ご連絡頂いた場合には、お客さまのお申し出を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

#### <利用目的>

- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のためにハイアールアジア株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

#### <業務委託の場合>

- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせるとともに、適切な管理・監督をいたします。個人情報のお取り扱いについての詳細は、ホームページ <http://aqua-has.com/> をご覧ください。

## 長年ご使用の扇風機の点検を！

こんな症状はありませんか

- モーター部が異常に熱かったり、こげくさかったりする。
- 羽根が回っても、異常に回転が遅かったり不規則になったりする。
- 運転を「入」にしても羽根が回らない。
- 回転するときに異常な音がする。

ご使用  
中止

このような症状のときは、故障や事故の防止のため、運転を「切」にし、コンセントから電源プラグを抜き、必ず販売店へ点検・修理をご相談ください。